



メディカルハッカソンにて IOT作ってみた。

実際の病院を会場にしたハッカソン！ 第 4回メディカルハッカソン by ものづくり医療センター

2025/03/13
Ken Shimizu

自己紹介

職業:証券会社でエクセルとVBAで帳簿への自動記録や、便利なツール類を作っています。

趣味:カヤックフィッシングと個人開発





はじまる前

かるーい気持ちで病院の先生と一緒になにかつくれるから楽しそうだし、適当に相手に合わせればいいか程度に軽ーく考えていました。



チーム編成

最初は、3-4人のチームを目指していましたが、ボッチになってしまいました。

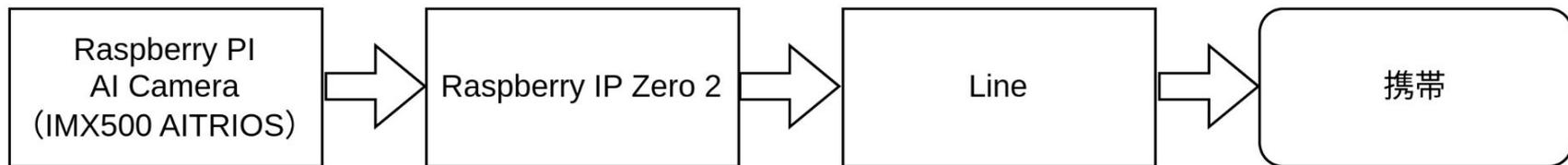


一人でなにか作ってプレゼンも含めて
IoTのもの作らんと。
ほぼほぼ24時間内に！
(ハッカソンは2日だったので)。

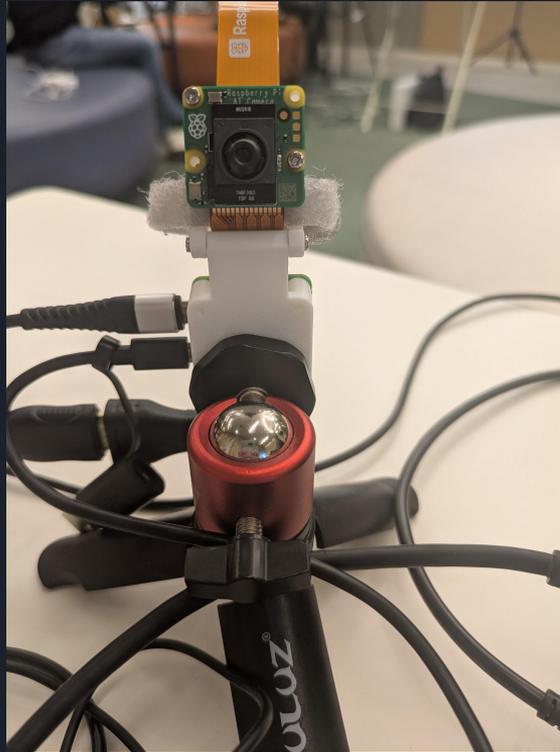


そうです。こんな時のために、シングルコンピュータのRaspberry PI Zero 2Wと、最近発売されたSONY製のAIカメラを忍ばせていました。

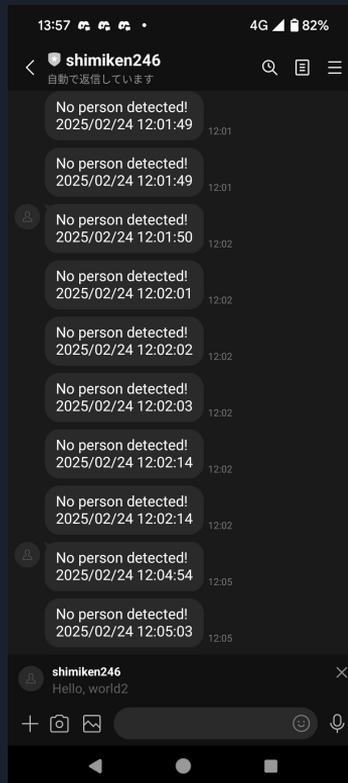
思いついたアーキテクチャーがこんな感じで、、、



Raspberry Pi Zero 2 と Raspberry Pi AI Camera



デモ





おまけ機能

このシステムは人が画像の中に何人いるかまでわかるので、病院の待合室を撮ると、その混みぐあいでLineにメッセージを送ることができます。



まとめ

Raspberry PIのAIカメラは便利で、AIの開発環境を設定する必要がありません。Tensorflowだとかの面倒くさい環境設定は必要ありません。サンプルコードを2つ繋げておしまいでした。